

登録コード	E6105900	開講年度	2026					
授業科目	病弱教育課程演習						担当教員	岸田 優代
英文授業名	Seminar of Education for Children with Health Impairments						副担当	楠見 友輔・大江 啓賢
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限		対象学生	3,4
講義室	教育 E 5 0 4 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	他の免許科目との関係で3年次以降に受講することが困難な場合、相談の上で2年次の履修を認めることがある。
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					病気の児童生徒の制約要因を理解し支援するために必要な基本的視点を習得し、病弱教育の意義と目標を設定できる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					病弱児教育の状況について、児童生徒の実態、教育課程の内容についての理解を図るとともに、特に自立活動について具体的な事例を取り上げ、理解を図る。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	病弱児教育の自立活動、発達支援プログラム、アセスメントにかかわる基本的な知識を習得する。さらに各疾病について理解した上で具体的なプログラムについての基礎的な知識と技術について理解する。							
(5)授業計画	第1回 イントロダクション：特別支援学校の教育で大切にしたいこと / 病弱特別支援学校の実際 第2回 特別支援学校（病弱）の教育課程編成、学習指導要領の改正経過と社会動向、就学相談 第3回 自立活動の目標、法令及び教育課程上の位置づけ、実態把握、目的と内容区分の取扱い、各内容区分について 第4回 個別の指導計画の作成手順、個別の指導計画と自立活動の活動内容の選択・組織（自立活動を含む）、授業計画と授業の実際 第5回 悪性新生物・筋ジストロフィー（グループによるプレゼンテーション） 第6回 喘息・ベルテス病（骨、関節系）（グループによるプレゼンテーション） 第7回 糖尿病等内分泌疾患・アレルギー（グループによるプレゼンテーション） 第8回 腎疾患・心臓病等循環器疾患（グループによるプレゼンテーション） 第9回 てんかん・心身症及び精神疾患（グループによるプレゼンテーション） 第10回 障害児の理解と支援（子どもの理解） 第11回 障害児の理解と支援（インリアルアプローチ） 第12回 障害児の理解と支援（児童生徒の理解と疾患（障害）の理解） 第13回 障害児の理解と支援（連携と情報共有） 第14回 これからの病弱児教育とトピック（合理的配慮、医療的ケア、不登校、保護者支援等） 第15回 授業のまとめ / 小論文テスト / 授業アンケートを行う 第5回から第9回は、グループによるプレゼンテーションを行う。 第10回から第14回、ゲストティーチャーによる集中講義を行う。 本科目は非常勤講師による授業のため、教育実習等における欠席分の補講は原則として行なわない。ただし、やむを得ない欠席理由がある場合には、事前に相談を行うこと。							
(6)成績評価の方法	・ 授業内容の第1回～第4回、第14回に対する小論文テストを行う。（配点20/100） ・ 第5回～第9回はグループによるプレゼンテーションの評価を行う。（配点25/100） ・ 第10回～第13回に対するレポート試験を行う。（配点30/100） ・ 第15回に対する小論文テストを行う。（配点25/100）							
(7)成績評価の基準	・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。 病弱児教育の自立活動、発達支援プログラム、アセスメント、また疾患に応じた対応について、 ・ 授業で解説した内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」, これに加えて、プレゼンテーションで課題が適切に整理されていれば「やや上にある(良)」, 課題の背景を説明できており既存の学説との整理が行われていれば「かなり上にある(優)」, その上で自分の見解を提示できており、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」							
(8)事前事後学習の内容	それぞれのプレゼンテーションに関わる内容について、履修期間中の授業時間外に継続してグループで協議し、資料作成及びプレゼンテーション準備を行うことを事前学習として課す。プレゼンテーション後の修正及び追加課題の作成を事後学習として課す。 なお本科目は、授業と授業時間外での自学自習とを合わせて90時間程度の学習を原則とする。							
(9)履修上の注意	ゲストティーチャーによる集中講義は、土日または冬休み中に1日行う（受講必須）。授業ではプレゼンテーションや体験実習を行うが、一部の必要な教材を各自で準備する場合がある（文具等数百円程度）。 ゲストティーチャーの集中講義の日程を要確認すること。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	授業についての質問や相談は、各授業回の担当教員に、授業内や授業の前後で行うこと。 履修や授業回に聞けなかった場合の質問や相談は、特別支援教育コース、楠見友輔（kusumi@shinshu-u.ac.jp）にメールで行うこと。							

【教科書】	特になし。資料を配布する。
【参考文献】	・特別支援学校学習指導要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）平成30年3月 文部科学省 ・特別支援学校学習指導要領等を踏まえた病気の子どものための教育必携 令和2年2月 ジアース教育新社 ・障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～ 令和4年3月 ジアース教育新社